

平成 24 年度第 2 回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成 24 年 12 月 1 日（土）午前 10 時～12 時

2 開催場所 中央図書館 2 階視聴覚室

3 出席者

（委員） 根津委員長 坪井委員 松本委員 橋本委員 土久委員
奥委員 須賀委員 藤田委員 高橋委員

（事務局） 加藤生涯学習部次長 森田館長
齋藤副館長 長田係長 森田副主査 三輪副主査

4 議題

（1）報告事項

- ①平成 24 年度利用統計及び事業報告について（4 月から 10 月）
- ②決算委員会について
- ③浦安駅前行政サービスセンターの図書サービスについて
- ④U モニアンケートについて

（2）協議事項

- ①浦安環境共生都市構想と図書館について

5 議事の概要

- ① 平成 24 年度利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。
- ② 決算委員会について、事務局より報告を行った。
- ③ 浦安駅前行政サービスセンターの図書サービスについて、事務局より報告を行った。
- ④ U モニアンケートについて、事務局より報告を行った。
- ⑤ 浦安環境共生都市構想と図書館について、協議を行った。

6 会議経過

- ① 平成 24 年度利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）スズキユージ氏が講師をされた子どもの本の講座の応募は多かったのか。

（回答）60 名の定員を越える応募があり、児童カウンター前で公開抽選会を行った。

（意見）この年齢の子どもが、親子で参加できる企画というのは今までなかったのではないか。今後もぜひ企画してほしい。

（意見）小郡市立図書館では、本庁の男女共同参画事業と連携して、男性職員によ

る読み聞かせを行っており、市長や教育委員会の幹部も参加していた。本庁との連携のきっかけ作りにもなるし、父親の育児参加の機会を設ける意味でも良い企画だった。

(回答) 最近では図書館への来館時に父親が子どもを連れてくる例も多い。児童の行事の一つのヒントとして受け止めたい。

(回答) 男女共同参画を含め、本庁との連携については、図書館の機能を利用してもらうという働きかけは行ってきた。図書館の機能を再認識してもらう意味での連携を、さらに深めていきたいと考えている。

(意見) 浦安市は集会事業への男性の参加が多いので、PRの方法や曜日、時間設定を工夫すれば父親の参加が見込めると思う。

(質問) 利用について増加分のパーセンテージは閉館時も含めて計算しているのか。

(回答) 閉館分も含めているので、増加しているのは当然となるため、1日平均を算出して分析している。

(質問) 図書館の稼働率については何を基準に考えているか。

(回答) 図書館を評価する指標はいくつかあるが、代表的なものとしては貸出冊数を基準にすることが一般的である。

(質問) 類縁機関サービスとは具体的にどんなサービスか。

(回答) 関連する団体、学校や幼稚園・保育園等へ出かけて行って読み聞かせやおはなし会、ブックトーク等を行うサービスである。

(質問) 図書館友の会で依頼するおはなし会はここには含まれているか。

(回答) 含まれていない。

② 決算委員会について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(質問) 寄付とはどういう内容でどのくらいのものか。

(回答) ハンディキャップサービス利用者の方から、現金で15,000円寄付があった。

(質問) その場合、そのお金は図書館の予算となるのか。

(回答) 市の歳入となる。

(質問) 補正はどのような場合に行うのか。

(回答) 昨年度は、震災により新規事業見直しとなり、さらに経常経費も2割削減とした。その他は、残額が見込まれる状況や、突発的な状況により必要となる場合もある。

③ 浦安駅前行政サービスセンターの図書サービスについて、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(質問) 図書館としてはどう評価しているのか

(回答) 想定している最大限の利用には届いていない。行政サービスセンターの

利用率を考えると、貸出は1日200～300冊という想定である。サービスの周知には時間が必要と考えている。

今後、早朝・夜間を中心に、右肩上がりに利用が伸びるとは考えている。

(質問) 浦安市の人口は減少が続いているのか。

(回答) 減少している。

(質問) 具体的広報の手段は何か。

(回答) 市の広報、ホームページ、館内のポスター、チラシの配布等で行っている。

(質問) 駅の構内にポスター等貼ってもらえないのか。

(回答) 協力してもらうことが可能か、確認したい。

(質問) 窓口には誰がいるのか。

(回答) 市民課の再任用職員及び非常勤職員で対応している。

(意見) ブックポストではなく、少しでも人の手を介してのやりとりができるのはとてもよい。

④ Uモニアンケートについて、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 大変興味深い調査であり、ぜひ継続して行ってほしい。

(質問) OPAC(蔵書検索)を4割が使っていないというのは、他の図書館でもこのくらいなのか。

(意見) この調査は、図書館利用者以外も含まれているので、それを考えれば妥当な数字ではないか。

(質問) 図書館の登録率はどのくらいか。

(回答) 実質利用率として、30%くらいである。

(質問) 自由回答の内容は何か。

(回答) 非来館型サービスの充実、OPAC機能の向上、現状でよい、という意見が概ね3分の1ずつである。

(意見) 最近では、市民の方がスキルが上がっていて、現状の検索機能では物足りないと感じる人も多い。一方で全く使えない人と、二極化が進んでいるので、図書館としてどこをターゲットとするのかは難しい問題ではないか。

(回答) 図書館としては、どちらか一方に照準を合わせることはできないので、蔵書検索とインターネット情報検索の講座を開いて、使えない方のフォローをしている。

(意見) OPAC機能の向上が、かなり高い数値で出ている。ぜひ対策を講じてほしい。

(意見) 検索について、図書はまだ良いが、CDのデータが標準化されていない。また貸出用のケースもボロボロのものが多く見られるので、改善してほしい。

⑤ 浦安環境共生都市構想と図書館について、協議を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）内閣府の資料では、環境モデル都市と環境未来都市があるが、応募はどちらにするのか。

（回答）環境未来都市への応募を計画している。

（質問）図書館協議会としては、今後どういったことを検討していけばいいのか。

（回答）現在、庁内全ての事業について、この構想に組み入れるものを検討中である。図書館においても、資料の電子化や震災記録の保存・整理等を検討している。図書館としての付加価値を高めることを考えているので、協議会からもご意見をいただきたい。

（意見）北九州市は、人口の激減をエコシティで回復を図った。良い事例なので、ぜひ参考にしてもらいたい。

（意見）記録の保管と併せて、今後の街づくりに必要な情報提供が重要となる。この構想は産官学による新しい公共事業の典型である。図書館は積極的に関わってほしい。

既存の事業の洗い出しだけではなく、新しいアイデアも出してほしい。

（意見）高齢者に優しい街は、小さい子どもにも優しい街である。小さい子どもから大切に作る街づくりをしてほしい。

（質問）スケジュールについて、応募の締め切りはいつ頃なのか。

（回答）企画政策課でとりまとめを行っているが、具体的にスケジュール通りにいくかどうかは未定。市としては、国の指定を受けられるか否かに関わらずこの構想は進めていきたいと考えている。

（意見）浦安に来たのは、「ゆりかごから墓場まで」というキャッチフレーズにひかれたことによる。その環境がほぼ揃った頃に震災が起きた。戸建が大きな被害を受けたが、街の復旧・復興のための情報発信地として浦安の図書館はよくやっていると思う。ただ、インパクトが足りないなので、もっと市民にPRしていただきたい。

（意見）あれだけのひどい液状化被害を受けた中で、市の対応が非常に早かった。浦安の底力を感じた。そういった面も、PRしてほしい。